

平成30年度市民意識調査結果（速報値から）

1. 調査の概要

（1）調査の目的

本調査は、佐倉市の取組等に対する市民の皆様からの率直なご意見等をお聞かせいただき、施策の実施・評価の参考とすることにより、行政サービスの向上を行いながら、将来像の実現を図るために実施するもの。

（2）調査の設計

この調査は、以下「調査種類」欄に記載している①～③の3つの調査から構成（各調査の対象者数は1,400名で、調査ごとの回答者は3グループに分かれる）。

調査地域	佐倉市全域
調査対象	市内在住の18歳以上の男女
調査種類	①福祉・健康編（地域福祉活動、健康づくり、子育て支援、障害者福祉、高齢者福祉） ②まちづくり・地域活動編（廃棄物対策、防災対策・犯罪防止、消費生活・市民相談、都市基盤整備、地域コミュニティ、平和・多文化共生、情報発信・市民意見反映、公共施設） ③教育・産業編（青少年育成、教育、スポーツ活動、産業振興、文化・芸術・観光） ※各調査共通：属性、自由意見等
対象者数	各調査1,400名（合計4,200名）
抽出方法	住民基本台帳から層化多段無作為抽出
調査方法	郵送配布・回収
調査期間	平成30年7月12日～平成30年7月31日

（3）配布・回収結果

調査の種類	配布数	有効回収数	有効回収率
福祉・健康編	1,400	409	29.2%
まちづくり・地域活動編	1,400	351	25.1%
教育・産業編	1,400	369	26.4%
合計	4,200	1,129	26.9%

（4）見方

- 「構成比」は、各項目の回答数を回答総数で除し、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表示。このため、構成比の合計が100%にならないことがある。
- 自由記載回答は、同様の回答内容の集計や誤植の修正等を行っている。

（5）調査項目

- 第3次地域福祉計画の成果指標として、地域福祉活動に関する4つの設問を実施（P2～10。共通の自由意見は、P7～10）。
- 平成30年度は、包括的な支援体制の検討に向けて、【相談、支援の体制等】の1つの設問を実施（P10～12。自由意見は、P11・12）。
- 【民生委員・児童委員】に関する2つの設問を実施（P13）。

2. 調査の結果（抜粋）

（2）福祉・健康編

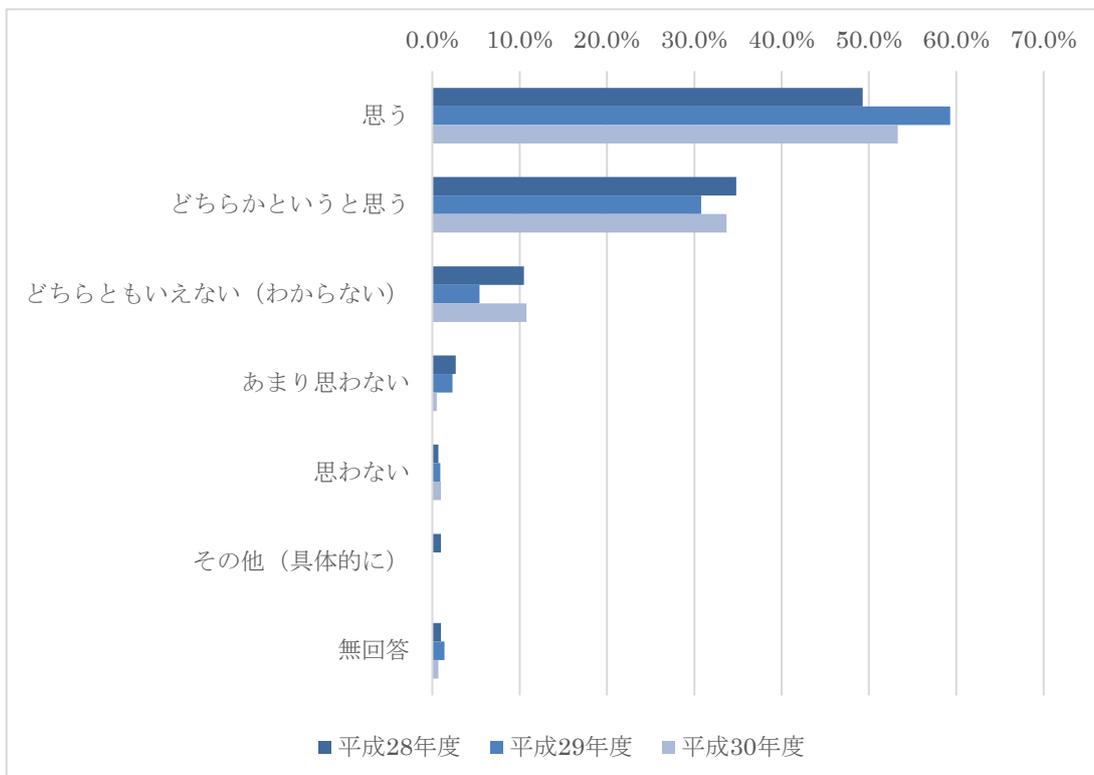
問 16 【住民同士の支え合い】

「地域で安心して住み続けるためには、住民同士の支え合いや助け合い等、つながりを大切にする必要があると思いますか。」【1つ選択】

※平成 29 年度から、「その他（具体的に）」の選択肢を削除。

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	目標値
思う	49.3%	59.3%	53.3%	65%
どちらかというと思う	34.8%	30.8%	33.7%	—
どちらともいえない（わからない）	10.5%	5.4%	10.8%	—
あまり思わない	2.7%	2.3%	0.5%	—
思わない	0.7%	0.9%	1.0%	—
その他（具体的に）	1.0%	—	—	—
無回答	1.0%	1.4%	0.7%	—

「思う」の割合は、54%前後で推移しています。「どちらかというと思う」の割合は、30%台前半で推移しています。



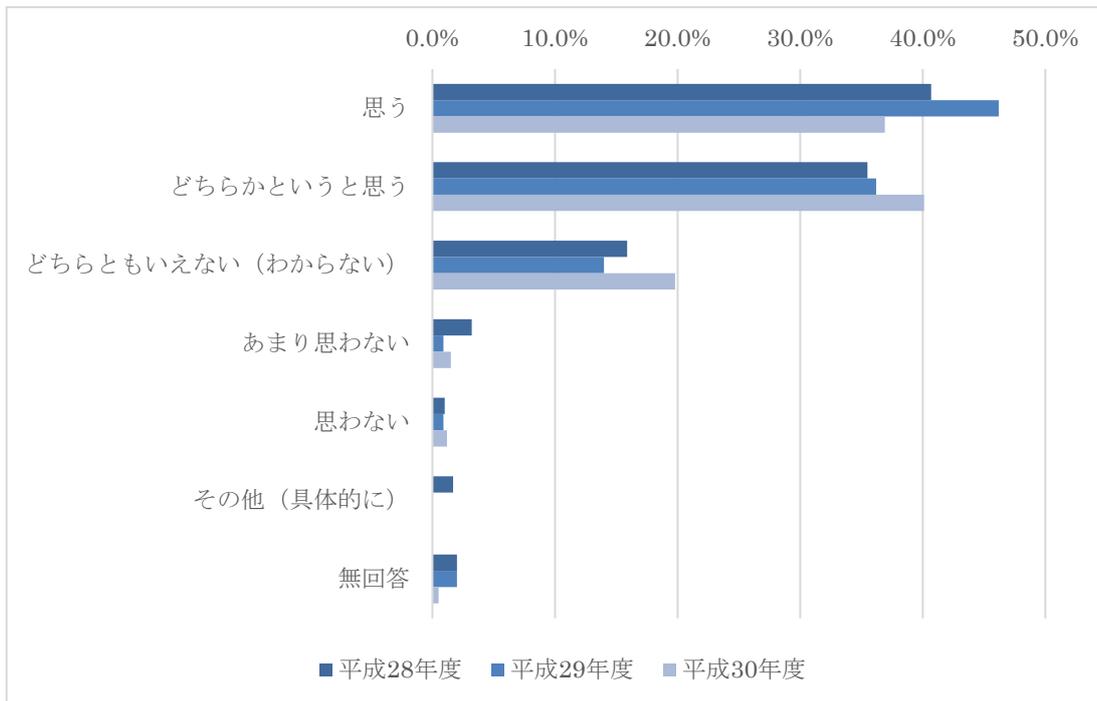
問17【近所からの相談等への対応】

「近所から、困りごとがあるので相談に乗って欲しい、手助けして欲しいと頼まれた場合、協力すべきだと思いますか。」【1つ選択】

※平成29年度から、「その他（具体的に）」の選択肢を削除。

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	目標値
思う	40.7%	46.2%	36.9%	50%
どちらかというと思う	35.5%	36.2%	40.1%	—
どちらともいえない（わからない）	15.9%	14.0%	19.8%	—
あまり思わない	3.2%	0.9%	1.5%	—
思わない	1.0%	0.9%	1.2%	—
その他（具体的に）	1.7%	—	—	—
無回答	2.0%	2.0%	0.5%	—

「思う」の割合は、41%前後で推移しています。「どちらかというと思う」の割合は、年々増加しています。



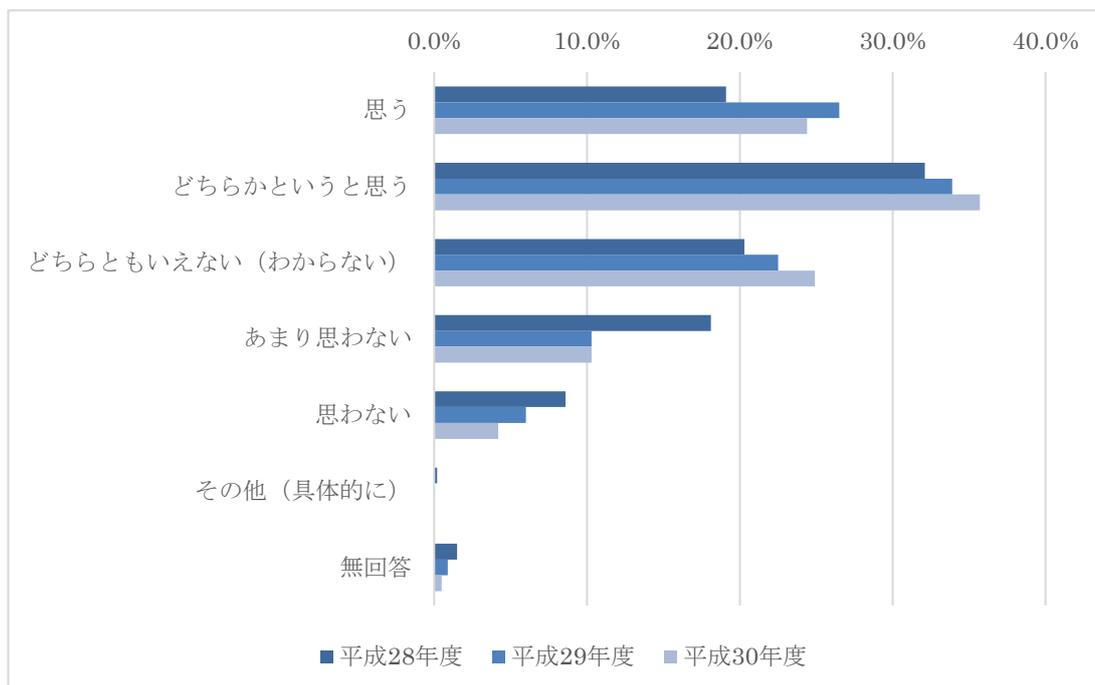
問 18 【住民同士の気づかい】

「日頃の『あいさつ』や、近所の方の異変に気がついた際の声かけ等、住民同士の気づか
いができていると思いますか。」【1つ選択】

※平成 29 年度から、「その他（具体的に）」の選択肢を削除。

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	目標値
思う	19.1%	26.5%	24.4%	30%
どちらかというと思う	32.1%	33.9%	35.7%	—
どちらともいえない（わから ない）	20.3%	22.5%	24.9%	—
あまり思わない	18.1%	10.3%	10.3%	—
思わない	8.6%	6.0%	4.2%	—
その他（具体的に）	0.2%	—	—	—
無回答	1.5%	0.9%	0.5%	—

「思う」の割合は、23%前後で推移しています。「どちらかというと思う」の割合は、年々増加
しています。



問 19 【住民同士の交流】

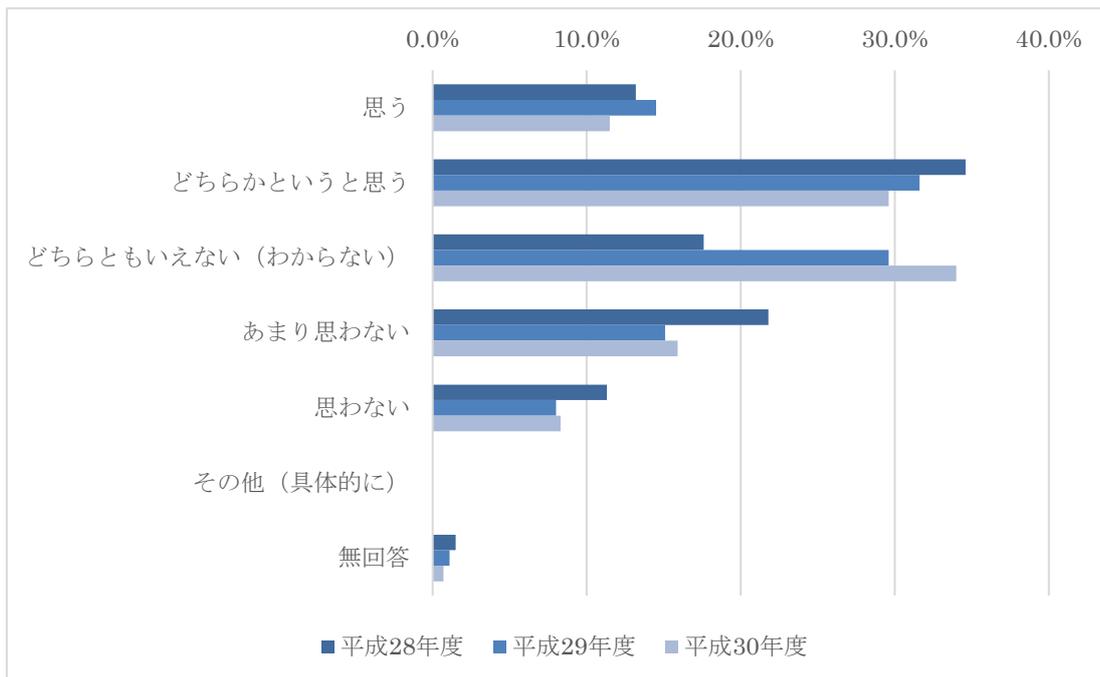
「地域行事への参加や協力等、住民同士の交流やふれあいができていると思いますか。」

【1つ選択】

※平成 29 年度から、「その他（具体的に）」の選択肢を削除。

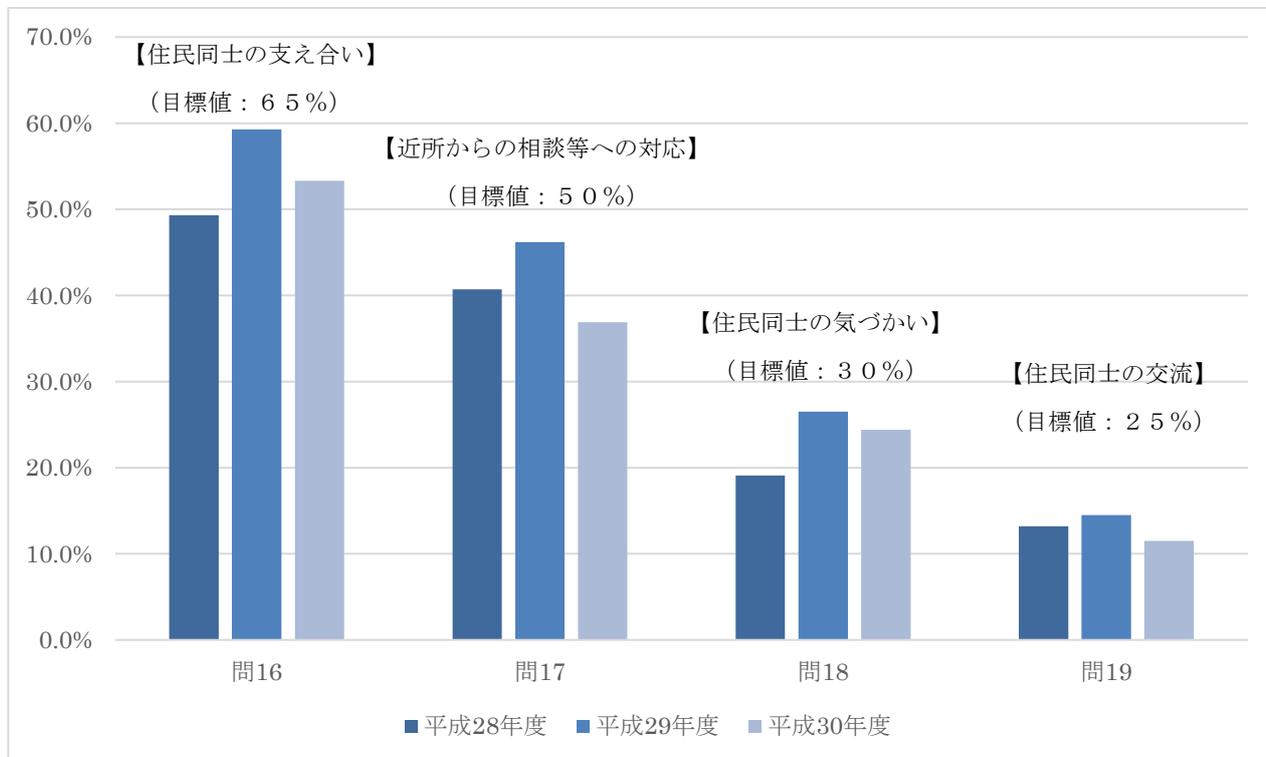
	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	目標値
思う	13.2%	14.5%	11.5%	25%
どちらかというと思う	34.6%	31.6%	29.6%	—
どちらともいえない（わからない）	17.6%	29.6%	34.0%	—
あまり思わない	21.8%	15.1%	15.9%	—
思わない	11.3%	8.0%	8.3%	—
その他（具体的に）	0.0%	—	—	—
無回答	1.5%	1.1%	0.7%	—

「思う」の割合は、13%前後で推移しています。「どちらかというと思う」の割合は、年々減少している一方で、「どちらともいえない（わからない）」の割合は、年々増加しています。



問 16～19 の「思う」の回答割合（第3次計画・成果指標）

各設問とも、目標値には届いていません。一定割合の前後で、推移しています。



結果から見られる傾向

○問 16 から問 19 の全てに共通して、「どちらかという思う」を含めると、それぞれ目標値は超えています。

※平成 30 年度：問 16・87.0%、問 17・77.0%、問 18・60.1%、問 19・41.1%。

○「意識（…思いますか）」を聴いている、問 16 と問 17 に比べて、「行動（…できていると思いますか）」という、問 18 と問 19 の結果には差があります。

○7 ページ以降の自由意見の中で、「関わり方」、「距離感」が難しいという意見があります。

○今後、地域の支え合い、助け合いが充実していくために、地域との関わりや住民同士の交流が進んでいくような取り組みが必要になると思われます。

問 19-2 【自由意見（抜粋・分類）】

「住民同士の支え合い、近所からの相談等への対応、住民同士の気づかいや住民同士の交流等について」

① 【全般】

<input type="radio"/>	何かきっかけがほしい（交流について）。声を掛けたいと思うことがあるが、変な人と思われそうで掛けられない。
<input type="radio"/>	そもそも交流する機会が全く無い。
<input type="radio"/>	人を生かす工夫をして欲しい。
<input type="radio"/>	移住してきた者には難しく感じます。子供の頃からの同級生（他市）などとの付き合いの方を大事にしています。
<input type="radio"/>	子どもがいないので近所でのつき合いが難しい。
<input type="radio"/>	実は人づき合いは苦手です。
<input type="radio"/>	助け合い、あいさつ等はとても大切だと思うが、地域のイベントに強制的に参加しないといけなくなるのは困る。
<input type="radio"/>	单身なので自宅にいる時間も短く、同じアパートの方も知らないうちに入れかわっており・・・というのが現実です。引っ越しのあいさつも最近はしないようです。自分は一時的でしたが他の方が来たことは一度もなく、少しさみしい世の中だなと思います。
<input type="radio"/>	何かの会（自治会など）に参加している人は交流がとれているとは思いますが。
<input type="radio"/>	周囲に人が多いが、町内会に入っている方々は少なく、住居地周辺の愛着心は感じられない。個人的には挨拶をしたり、交流ふれあいはあるが、地域活動などは、古くから住まわれている人たちの中に入るのに、少し抵抗感があり、協力はするが、参加となると考えてしまう。
<input type="radio"/>	町会の役員を3月まで2年間つとめました。子供の頃から住んでいる場所ですが、生活者となって知ることも多かったです。現在自主防災会の役員を受けています。地域の高齢化が深刻です。防災だけでなく、社会的弱者をどう支えるか、地域性を考えて取り組めるよう、市全体でなく小さな単位をアドバイスしてくれるアドバイザーのような方がいるといいです。民生・児童委員でなく、CWでもない地域作りを考えてくれる人（一緒になって）がいるといいです。
<input type="radio"/>	地域に顔見知りの人をたくさん作る事が支え合いの第一歩だと思います。
<input type="radio"/>	住民同士の交流が少ないと感じている。
<input type="radio"/>	嫌がる人もいるだろうし、昼間家にいない人の方が多いので思ったよりも出来ない状況。
<input type="radio"/>	自宅の廻りだけしかお付き合いがない。
<input type="radio"/>	転居者に対して住みづらい環境にあり、古い体質、封建的な体質（特に商店会の動きが）が目立つ。
<input type="radio"/>	小さい子供をかかえている人や障害をかかえている人達がなやみ苦しんでいる時、すぐいえるような環境作りとか、コミュニティ、サービスが増えるといいと思います。
<input type="radio"/>	最近転入される方の中には、町会加入を嫌われる方が多く、コミュニケーションが取りにくくなっています。個人の自由ですが、なんとなく寂しくなります。

②【地域性・住まい】

<input type="radio"/>	住宅が少なく、離れている為、交流等は、行事等への参加がないかぎりありません。古い考えが根強く、行事等への積極的参加のための改善がされにくい。
<input type="radio"/>	自治会もない所に住んでいるので、近所同士はうまくいっていると思うが、工業団地の住まいなので、日曜・祝日も関係なく朝早くから夜遅くまで仕事をしている。
<input type="radio"/>	マンション自体は交流会等が多いですが、私は参加していません。
<input type="radio"/>	私の住んでいる地域は旧住民と新しく住宅が建てられた新住民の方たちとの交流があまりなく、どうしたら若い人達との交流を持つことが出来るかと案じております。
<input type="radio"/>	自治会会館での集まりが多く企画され、民生（委員）の方が多々声をかけてくれている。又、私自身も近所の方と他愛のない言葉でも交わしている。
<input type="radio"/>	マンション（持ち家）生活では普段から住民同士の交流は少ない。声を掛け合っていますが（挨拶程度）交流までに至っていません。
<input type="radio"/>	高齢者の割合が高いマンションの特性なのか積極的な交流がない。住民が多いまたは子供のいない層では隣人との交流を避ける傾向もみられる。

③【世代（仕事など）】

<input type="radio"/>	自治会内では「若い人にやってほしい」との声がよく聞かれますが、30～40代の方は少ない上、仕事や育児で時間がありません。地域活動まで手がまわらないことを高齢の方々に理解してほしいです。
<input type="radio"/>	同じマンションに住む住民同士の交流がある方だと思いますが、私自身は仕事で日中不在であったりとして交流は少ないです。そんな中での地域への関りも限られてくると思います。
<input type="radio"/>	共働きなので日中不在のため、あまり交流はありません。
<input type="radio"/>	仕事をしているので交流はあまり気がすすまない。
<input type="radio"/>	となり近所が若い方が多く、交流がほとんどない。世代同士の集まりもないので話す機会もなし。
<input type="radio"/>	近所に同世代が多いので交流しやすい。
<input type="radio"/>	私は1週間休みなく働いているため、もちろん助け合いなどは必要だと思うが、私自身地域のことにすべて参加できる時間がないので、周りが何をされているのかわからない。私が近所に対して何もできない状態だ。

④【関わり方】

<input type="radio"/>	基本的には相談に乗り協力したいと思っているが相談の内容により難しいこともあると思います。相手との距離感が難しい。そこまでお互いにオープンにできていない。
<input type="radio"/>	対応に対してどの程度かかわってよいかどうか難しい。
<input type="radio"/>	自治会役員の際は交流や行事への参加はあるが、日常ではどちらかというとも都会的な近所づき合いだと思う。特に問題がなければ、それがいい距離感なのだと思う。
<input type="radio"/>	内容によるが、あまり深入りしたくないと思う。

<input type="radio"/>	皆さんあまり関わりたくないような感じで、中には挨拶しても無視する人もいます。
<input type="radio"/>	助け合いや声かけ等で深い付き合いになると、トラブルも増えないか心配。
<input type="radio"/>	79歳を迎えた私は何か役に立つ事はなかなか出来ませんが挨拶はする様にしている。事件も多いのでほどほどとも思っている。

⑤【高齢化】

<input type="radio"/>	地区住民が高齢化しつつあり、独居老人増加傾向にあるので、住民同士の支えあいが必要になると思うが、将来的には無理ではないかと思う。
<input type="radio"/>	ご近所におひとり住まいの高齢者が増えているので安否確認？や振り込め詐欺防止など対策が必要と思われまます。近所に住む私達にも何かできることがあればやりたいです。
<input type="radio"/>	年配の方との価値観のずれがあり、あまり親しくしすぎないようにしていることもある。一人暮らしのお年寄りへの対応が難しい。
<input type="radio"/>	近所の人達も皆高齢になってきているのでフットワークは遅くなると思う。

⑥【交流できる場】

<input type="radio"/>	普段からイベント等を通じて交流できる場を作るべきだと思う。
<input type="radio"/>	人づき合いの苦手なご近所さんも、人とかかわるのが好きな人も住みやすい場所だといいなと思えます。無理なくイベントや行事参加できるシステムだと嬉しいです。
<input type="radio"/>	老人会の集まりに参加して話を聞いています。
<input type="radio"/>	町内でもわくわく体操参加し、リーダーとして頑張っています。

⑦【行政】

<input type="radio"/>	母が隣の人を車に乗せて病院などに連れて行くが高齢なので心配。老老での助け合いだけでなく、行政として何かして欲しい。子どもだけに手をさしのべている感がある。
<input type="radio"/>	横柄にならない様にして欲しい。したい。行政はサポートに徹する
<input type="radio"/>	自治会やこう友会（老人会に属する）等に参加していることで交流が出来ていると思うが、市等の行政の動きが不明である

⑧【自治会など】

<input type="radio"/>	アパートで仮住まいしていますが住民同士の関係が希薄だと思う。町会、自治会への加入も敷居が高い。
<input type="radio"/>	年令と共に自治会や協議会等への参加が負担になっています。特に協議会が2年となっているのは困ります。

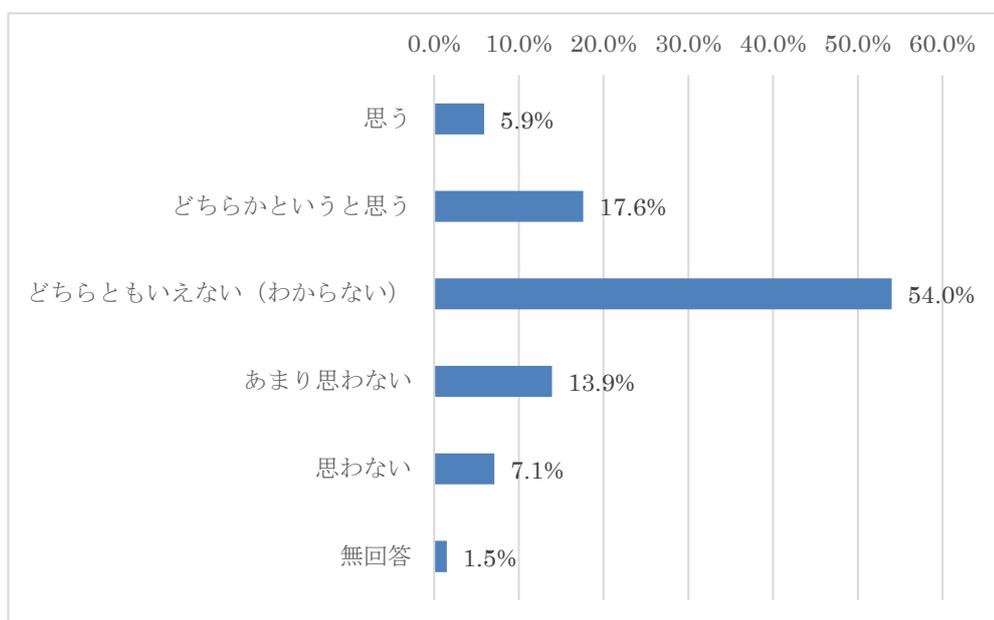
⑨【災害時など】

<input type="radio"/>	災害があった時などに特に近所の人々の支え合いが大切になると思うので、挨拶以外にもコミュニ
-----------------------	--

	ケーションが取れる場面が増えるといいと思いました。
○	身体障害の高齢者と住んでいるので、災害時や外出時の対応が必要。
○	多くの住民は他の家に異変を感じた人から町内役員に連絡をする。今年度防災台帳を新規に作成したことで（現在も集約中）、万が一の場合に対処することがある程度可能となった。しかし一部の家でそうでないこともある。

問 20 【相談、支援の体制等】

「困りごとがあったときに、相談できる場、支援を受けることができる体制等が市内で整備、構築されていると思いますか。」【1つ選択】



「どちらともいえない (わからない)」の割合が、54%と最も高い割合となっています。

※佐倉市の主な相談機関

地域包括支援センター・障害者相談支援事業所・子育て世代包括支援センター・生活困窮者自立支援相談窓口など

問 20-2 【自由意見（抜粋・分類）】

「困りごとがあったときに、相談できる場、支援を受けることができる体制等が市内で整備、構築されていると思いますか。」

① 【全般】

<input type="radio"/>	相談に行っても何の解決もできませんでした。
<input type="radio"/>	あまり役に立たないように思う。
<input type="radio"/>	相談で終わってしまう。それから先がない。
<input type="radio"/>	体制としてはあるのだと思いますが、よくわかっていません。また、気軽に相談できるイメージがありません。
<input type="radio"/>	相談窓口であったとしても現実的な対応がなされなければ意味が無いように思われます。
<input type="radio"/>	民生委員が地域にいることは周知されているので整備されていると思います。しかし、実際の相談内容まで把握しておりませんことから機能しているかは知り得ません。
<input type="radio"/>	違う地域で姉妹が元民生委員、今社会福祉協議会で、ボランティアで10年程活動していますが、その話とこの地域ではそんな活動をしている感じを受けない。
<input type="radio"/>	とりあえず市民課に相談でしょうか・・・。
<input type="radio"/>	障害者や高齢者の介助の必要な人がどこにいて、必要な支援は何かわかると良いのですが。
<input type="radio"/>	まだ必要としていないからか全く情報を知らない。
<input type="radio"/>	相談は自分で行かなければならないと思うが、支援はもう少し楽な様にたとえば書類とか申し込みをしなければ、（何に対しても）それにわからない事も多々あるのでもう少しわかりやすくして欲しい。
<input type="radio"/>	問19でも言いましたがコミュニティ、サービスについてももう少し改善したほうが良いと思います。
<input type="radio"/>	自治会への投書箱。

② 【認知・PR・情報発信】

<input type="radio"/>	知っている人は知っている。知らない人は知らないと周知度にばらつきはあると思います。
<input type="radio"/>	どこに相談してよいかわからない。 メール配信してもらえると助かります。
<input type="radio"/>	PR不足だと思う。住民自身が動かないとそのような体制がどこにあるのかわからない。
<input type="radio"/>	佐倉市に20年以上過ごしているにもかかわらず、市内で体制があるのかすら知らなかった。
<input type="radio"/>	相談・支援の体制？どのようなことを、どこへ相談したらよいか、佐倉市には色々あるらしいが、具体的な一覧表みたいなものがあるとわかりやすい。自分で考え、調べるところから始まるのでは体制は不十分ではないか？
<input type="radio"/>	地域包括支援センターを利用、相談する内容を理解しておりませんので、具体的な紹介が欲しいです。

<input type="radio"/>	案内板、ちらし、メール等を利用して情報を公開して欲しい。
<input type="radio"/>	相談できる場を知らないので、もっと発信していくと良いと思う。

③【行政】

<input type="radio"/>	市が何かをしてくれているイメージはない。その機会がないからか、体制が構築されていないのか、ただアピール不足なのかわからないが。
<input type="radio"/>	前問にも書きましたが市の単位、地域の単位より小さい町会単位で相談できる場、支援を受けられる体制があるとよい。ただあまり近所すぎても相談しづらいのかもしれないとも思う。支援するであろう側が社会的弱者に対しての情報と公平に対応していくスキルは重要になる。それを市がサポートしていくようになるとよいと思う。
<input type="radio"/>	市の支援、対応は遅く動きが不明であるように思う。
<input type="radio"/>	佐倉広報など見て市政にたよるしかない。

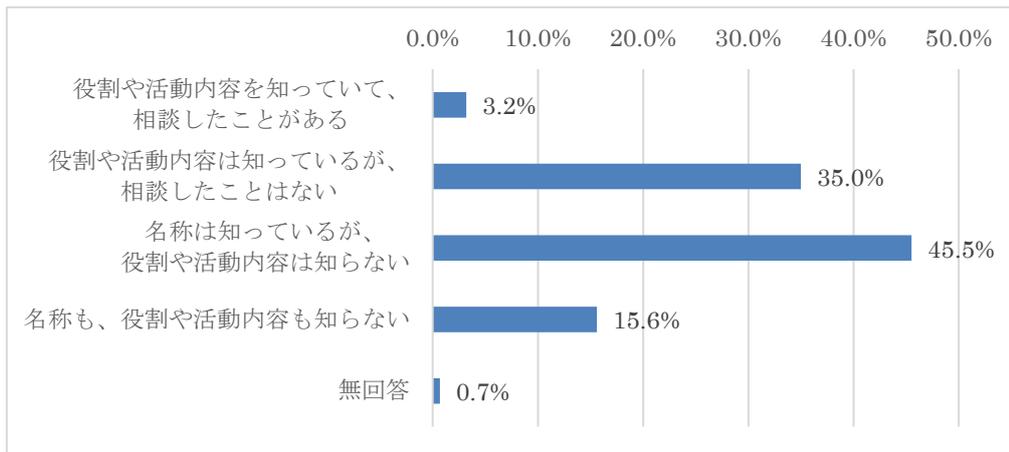
④【相談場所】

<input type="radio"/>	相談日はほとんど予約制で気軽に行きづらい。高齢者が相談会場へ行くのは大変である。ちょっとしたことを相談したい時にどこへ聞いたら良いのかわからない。
<input type="radio"/>	高齢者夫婦が2人共病気になり床につく状況の時はどこへ相談したらよいのでしょうか（要介護認定なし、2人暮らし家庭）。
<input type="radio"/>	相談できる場や窓口をもっとオープンにしてほしい。
<input type="radio"/>	レクリエーション等、シルバー世代の交流がもっとあればと思う。
<input type="radio"/>	相談出来る場所が住まいのそばにあれば？と思います。
<input type="radio"/>	地域包括支援センターなど相談する体制がある。
<input type="radio"/>	妊娠にあたり母子手帳交付、日曜も対応してもらえて助かりました（平日勤務）。市役所以外でも日曜対応してもらえたらよりありがたいです。保健師への相談不要と思っていたが、結果的に色々話せてとてもよかったです。
<input type="radio"/>	町内会、社協等の体制でもっと気やすくできる方法をさぐるべき。

問 21 【民生委員・児童委員】

「民生委員・児童委員は民生委員法・児童福祉法に基づき、自らも地域住民の一員としてその地域に住み、主に高齢者、児童などの見守りや住民と行政とのつなぎ役を担っていますが、民生委員・児童委員の役割や活動内容を知っていますか。」【1つ選択】

「名称は知っている」の割合は、全部で 83.7%と高いが、「役割や活動内容は知らない」の割合も、全部で 61.1%と高い割合となっています。



問 22

「お住まいの地域を担当する民生委員の名前を知っていますか。」【1つ選択】

「担当がいることを知っている」を含めると、「名前を知らない」の割合が、84.1%と高い割合となっています。

